

資料

1. 港南区の概況

●人口

港南区の人口は、223,141人。18区中6番目にあたりますが、人口密度の高さが特徴となっています（18区中3番目）。平均年齢は42.2歳、65歳以上の割合は17.1%で、横浜市全体とほぼ同水準です。（平成17年1月1日現在）

しかしながら、横浜市の2025年までの将来人口推計値をみると、市全体ではゆるやかに増加していきませんが、港南区を含む3区では減少が予想されています。特に、副都心である上大岡駅周辺では、年少・生産・老年人口すべての増加が見込まれますが、区全体では65歳以上の人口のみが増加し、より一層の高齢化の進展が予想されるとともに、区内における地域間格差が拡大していくことが考えられます。

参考：平成17年版統計便覧—港南区のあらまし—

「横浜市の将来人口推計（区別推計）について」都市経営局

●各地域の特徴と課題

各地域ケアプラザ周辺エリアの特徴は、次のとおりです。なお、各地区の名称は、地区連合町内会、及び地区社会福祉協議会の地区名を示しています。

港南中央地域ケアプラザ周辺エリア

上大岡駅は、横浜市の副都心に位置づけられ、駅周辺には商業施設等が集積しています。周辺地区は再開発や新しいマンションの建設等が進み、上大岡、笹下、日野第一とも、将来人口の増加が見込まれています。

一方、周辺地区は駅から徒歩圏であっても、山坂が多く、高齢者や障害者にとっては移動手段の確保が課題と考えられます。

また、笹下は、港南中央地域ケアプラザを活動拠点としていますが、上大岡、日野第一は、地域ケアプラザが地区の中心に無いため、活動拠点の確保が課題です。

なお、上大岡にはコミュニティハウスの整備計画があります。

東永谷地域ケアプラザ周辺エリア

上大岡駅に近い大久保最戸は、年少・生産・老年とも、将来人口が増加することが見込まれています。

芹が谷は、将来的に年少・生産年齢人口が減少し、老年人口の増加が見込まれ、高齢化率は30%を超えることが予想されます。この地区は、地域ケアプラザが未整備であり、地域の拠点づくりが課題と考えられます。

東永谷地域ケアプラザは、施設の位置と地域活動交流エリア（連合・地区社協）が乖離するため、地域の活動拠点として機能しづらいという課題があります。

上大岡駅周辺は、港南区内で唯一、年少人口の増加が見込まれる地区であり、親子の居場所づくりをはじめとする子育て支援策の充実が課題と考えられます。

日下地域ケアプラザ周辺エリア

日下の将来人口推計は、ほぼ現状維持となっています。

日下地域ケアプラザは、連合の中央に位置し、地域の活動拠点として活用されていますが、周辺は山坂が多く、幹線道路で分断されているため、高齢者や障害者にとっての移動手段が課題と考えられます。

港南台地域ケアプラザ周辺エリア

J R 港南台駅を中心に商業圏が形成され、駅周辺には、昭和 40 年代後半から 60 年代前半にかけて開発された大規模な集合住宅があります。また、周辺には戸建てを中心とした住宅地が形成されています。

この地域では、街並みの形成はほぼ終わっており、日野、港南台、日野南とも、将来人口は減少することが見込まれます。

特に日野南は、現在も高齢化率が 28.1%と高くなっていますが、将来は 38%まで上昇する見込みです。また、高齢者 2 人世帯の割合が 15.3%と区内で最も高く、高齢者を支える仕組みづくりが課題と考えられます。

港南台地域ケアプラザは、J R 港南台駅に近く、アクセスしやすいという利点があります。

また、日野南地域ケアプラザ（仮称）が開所予定（平成 20 年度）ですが、日野の一部については、地域ケアプラザまでのアクセスが課題と考えます。日野南には、コミュニティハウスの整備計画があります。

野庭地域ケアプラザ周辺エリア

永野、野庭団地、野庭住宅とも、将来人口が減少し、老年人口が増加するため、高齢化率の上昇が見込まれます。

永野は地下鉄上永谷駅を中心に、戸建て住宅やマンションによる街並みが形成されています。

野庭町には、昭和 47 年から 50 年代にかけて開発された大規模な集合住宅があります。野庭団地、野庭住宅は、高齢者単身・2 人世帯の割合がいずれも高く、高齢者施策の充実が必要と考えられます。

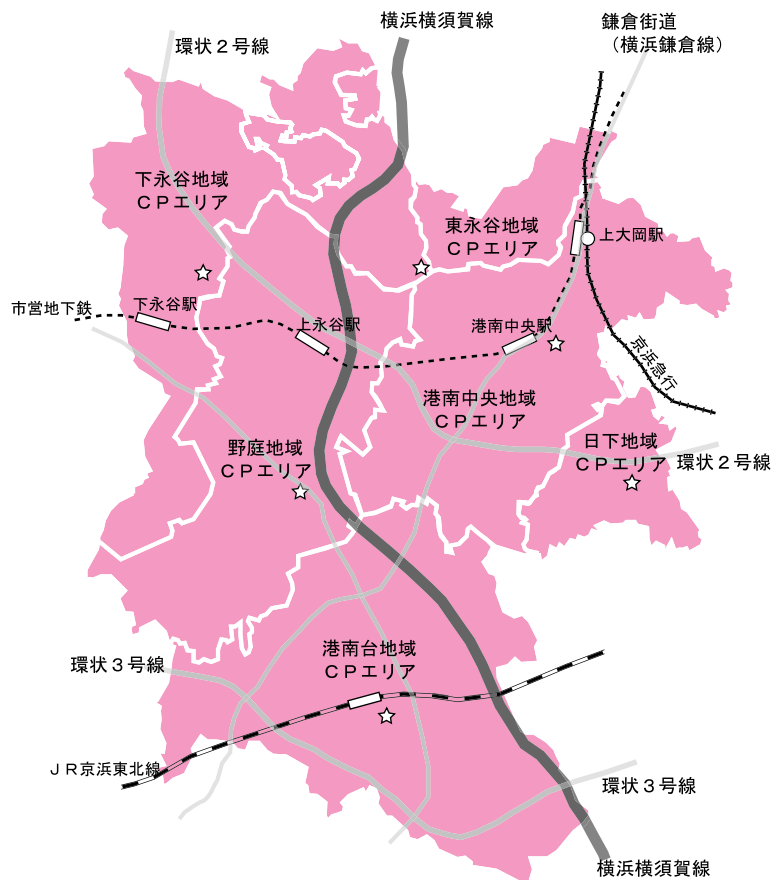
野庭地域ケアプラザは、野庭町のほぼ中央に位置しており、地区の活動拠点となっていますが、丸山台は地域ケアプラザの整備が課題と考えられます。

下永谷地域ケアプラザ 周辺エリア

下永谷、永谷、ひぎりとも、将来人口はやや減少しますが、老年人口は増加し、高齢化率の上昇が見込まれます。

下永谷地域ケアプラザは、環状 2 号線からやや奥まった住宅地の中にあるため、アクセスしづらいという課題があります。

また、ひぎりは、区民利用施設が日限山コミュニティハウスだけであり、地域ケアプラザの整備が課題と考えられます。



●港南区の基礎データ【地域ケアプラザ（CP）別・平成17年3月末日現在】

C P	連 合	面積 (k m ²)	人口				将来人口推計 (2014年)			
			総数	年少	生産	老年	総数	年少	生産	老年
港南中央	上大岡	1.095	12,456	1,350 (10.8)	8,794 (70.6)	2,312 (18.6)	16,110	1,884 (11.7)	11,205 (69.5)	3,021 (18.8)
	笹下	1.249	20,524	2,819 (13.7)	14,196 (69.2)	3,509 (17.1)	21,199	2,919 (13.8)	13,912 (65.6)	4,368 (20.6)
	日野第一	1.433	16,308	2,754 (16.9)	11,482 (70.4)	2,072 (12.7)	18,350	3,091 (16.8)	12,208 (66.5)	3,051 (16.6)
東永谷	大久保最戸	0.891	16,149	2,350 (14.6)	11,480 (71.1)	2,319 (14.4)	17,830	2,790 (15.6)	12,089 (67.8)	2,951 (16.6)
	芹が谷	1.426	8,727	1,032 (11.8)	5,897 (67.6)	1,798 (20.6)	8,058	881 (10.9)	4,733 (58.7)	2,444 (30.3)
日下	日下	1.328	12,626	1,659 (13.1)	8,845 (70.1)	2,122 (16.8)	12,089	1,614 (13.4)	7,726 (63.9)	2,749 (22.7)
港南台	日野	1.217	15,916	2,167 (13.6)	10,986 (69.0)	2,763 (17.4)	14,030	1,690 (12.0)	8,712 (62.1)	3,628 (25.9)
	港南台	3.119	29,678	3,713 (12.5)	20,906 (70.4)	5,059 (17.0)	26,873	3,001 (11.2)	16,408 (61.1)	7,464 (27.8)
	日野南	1.108	4,621	428 (9.3)	2,895 (62.6)	1,298 (28.1)	4,499	531 (11.8)	2,257 (50.2)	1,711 (38.0)
野庭	永野	2.123	21,259	2,898 (13.6)	14,551 (68.4)	3,810 (17.9)	20,091	2,455 (12.2)	12,551 (62.5)	5,085 (25.3)
	野庭団地	2.097	24,088	3,030 (12.6)	17,084 (70.9)	3,974 (16.5)	22,557	2,486 (11.0)	13,200 (58.5)	6,872 (30.5)
	野庭住宅									
下永谷	下永谷	1.413	13,180	1,813 (13.8)	9,222 (70.0)	2,145 (16.3)	13,073	1,702 (13.0)	8,157 (62.4)	3,214 (24.6)
	永谷	0.502	17,562	2,454 (14.0)	11,871 (67.6)	3,237 (18.4)	16,225	1,860 (11.5)	10,065 (62.0)	4,300 (26.5)
	ひざり	0.861	9,439	1,365 (14.5)	6,164 (65.3)	1,910 (20.2)	9,435	1,399 (14.8)	5,260 (55.7)	2,776 (29.4)
港南区		19.862	222,534	29,832 (13.4)	154,373 (69.4)	38,329 (17.2)	217,716	27,790 (12.8)	136,458 (62.7)	53,468 (24.6)

CP	連 合	世帯数 (戸)	高齢者単身世帯		高齢者2人世帯		介護保険認定者数		自治会加入世帯	
			世帯数	割合	世帯数	割合	認定者数	割合	世帯数	割合
港南中央	上大岡	5,893	566	9.6	422	7.2	366	15.8	5,197	88.2
	笹下	8,971	786	8.8	691	7.7	511	14.6	7,635	85.1
	日野第一	6,617	440	6.6	388	5.9	298	14.4	4,641	70.1
東永谷	大久保最戸	7,370	627	8.5	430	5.8	405	17.5	5,650	76.7
	芹が谷	3,398	309	9.1	387	11.4	243	13.5	2,529	76.4
日下	日下	5,410	427	7.9	402	7.4	337	15.9	4,326	80.0
港南台	日野	6,444	586	9.1	549	8.5	374	13.5	6,687	103.8
	港南台	12,220	1,041	8.5	1,045	8.6	647	12.8	10,448	85.5
	日野南	1,834	214	11.7	280	15.3	201	15.5	1,551	84.6
野庭	永野	8,495	674	7.9	779	9.2	649	17.0	9,083	106.9
	野庭団地	9,848	867	8.8	714	7.3	424	10.7	5,299	53.8
	野庭住宅									
下永谷	下永谷	5,115	422	8.3	393	7.7	369	17.2	4,185	81.8
	永谷	6,814	577	8.5	648	9.5	407	12.6	6,260	91.9
	ひざり	3,578	263	7.4	399	11.2	232	12.1	3,178	88.8
港南区		92,008	7,799	8.5	7,527	8.2	5,463	14.3	76,735	83.4

※将来人口推計は、1999年と2004年の2点間の数値をもとに区で算出した推計値です。

※高齢者世帯構成比の母数は、地区の全世帯数

※介護保険認定者数構成比の母数は、地区の老年者数

※日野地区の自治会加入世帯率は、港南台の一部も含まれるため、100%を超えています。

※野庭住宅、野庭団地は野庭町の数値を利用。そのため、永野地区は自治会加入世帯率が100%を超え、野庭団地、野庭住宅は自治会加入世帯率が、少なくなっています

● 港南区の健康状況に関するデータ

□ 平成 16 年人口動態統計率 ※出生、死亡、婚姻、離婚は人口 1,000 人の対する件数

地域	出生率	死亡率	婚姻率	離婚率
全国	8.8	8.2	5.7	2.15
港南区	9.0	6.0	5.6	1.9

□ 人口動態統計実数の推移 ※人口は各年 10 月 1 日

年	人口	出生数	死亡数	婚姻	離婚
1985 年	206,980	2,751	707	1289	259
1990 年	224,037	2,383	879	1545	301
1995 年	222,893	2,116	1,009	1,540	383
2000 年	222,669	2,079	1,215	1,447	477
2004 年	223,205	2,010	1,347	1,249	415

□ 平成 15 年男女別主要死因比較状況・港南区死亡数

地域・性別	1 位	2 位	3 位	4 位	5 位
全国(男)	悪性新生物	心疾患	脳血管疾患	肺炎	不慮の事故
港南区(男)	悪性新生物	心疾患	脳血管疾患	肺炎	自殺
死亡数(男)	288	88	79	57	30
全国(女)	悪性新生物	心疾患	脳血管疾患	肺炎	老衰
港南区(女)	悪性新生物	心疾患	脳血管疾患	肺炎	自殺
死亡数(女)	182	107	71	58	19

□ 平成 15 年悪性新生物(がん)の部位別死亡割合

	1 位	2 位	3 位	4 位	5 位
男	肺	胃	肝臓	大腸	膵臓
割合(%)	21	17	14	11	5
女	大腸	胃	肺	肝臓	膵臓
割合(%)	15	14	13	11	8

□ 身体障害者手帳交付台帳登載者数<等級別>

年度	1 級	2 級	3 級	4 級	5 級	6 級	計
16 年度	1,764	1,067	798	1,103	269	268	5,269

□ 身体障害者手帳交付台帳登載者数<障害種別>

年度	視覚障害	聴覚・平衡機能障害	音声・言語機能障害	肢体不自由	内部障害
6 年度	436	494	69	2,936	904
16 年度	377	464	53	2,958	1,417

□ 愛の手帳(療育手帳)交付台帳登載者数

	最重度 (IQ20 以下)	重度 (IQ21~35)	中度 (IQ36~50)	軽度 (IQ51 以上)	計
6 年度	165	176	202	123	666
16 年度	249	280	272	207	1,008

□ 精神障害者把握数

病名	統合失調症	そううつ病	非定型 精神病	てんかん	知的障害	老人性 精神障害	
6 年度	912	225	27	164	35	287	
16 年度	932	743	23	188	70	125	
病名	アルコール	中毒性 精神障害	脳器質性 精神障害	神経症	心因反応	その他	合計
6 年度	162	27	24	68	227	453	2,611
16 年度	121	48	24	87	170	527	3,142

* 本データは 2005 年国民衛生の動向・平成 7 年度・平成 17 年度港南区福祉保健事業概要を参照

2. 市町村整備計画について

1 背景

介護保険制度の改正により、地域密着型サービスや介護予防拠点など、日常生活圏域(※)で利用されるサービス拠点を市町村が計画的に整備できるよう、市町村交付金制度が平成17年度に創設されました。

※日常生活圏域：地域ケアプラザの所管エリア(中学校区)とします。

2 市町村整備計画の作成

市町村は、今後3年間(以内)にどのような介護サービス拠点の整備を行うかを明記した「市町村整備計画」を日常生活圏域ごとに作成し、国に交付金申請を行います。

国は各市町村から提出された市町村整備計画を高齢者数や施設整備の状況等、様々な観点から順位付けを行い、優先順位の高い計画から国の予算の範囲内で採択することになります。

3 横浜市の対応について

計画的に介護サービス拠点の整備を進めるため、交付金を活用します。ただし、介護サービス拠点の整備によるサービス量の増加は介護保険料にも影響を与えることになるため、福祉局で、市全体で適切なサービス量を検討し、各区で整備を行う量を示します。

4 主な施設等の整備の考え方及び港南区の整備量

介護サービス拠点の種類	サービスの内容	横浜市の考え方(目標)	港南区における20年度までの整備量
介護予防拠点	在宅の虚弱高齢者(要支援・要介護状態の方を除く)を対象とする介護予防プログラム(介護予防体操等)を提供するための拠点	地域ケアプラザや老人福祉センター等の改修により、20年度までに各日常生活圏域に2~3か所整備	20か所
夜間対応型訪問介護	夜間の定期的な巡回と、利用者の通報による随時対応を組み合わせた訪問介護	18年度中に全区で展開	1か所
小規模多機能型居宅介護	「通い」を中心に、随時「訪問」や「泊まり」を組み合わせたサービスを提供する拠点	20年度までに各日常生活圏域に1か所整備	10か所
認知症対応型共同生活介護(グループホーム)	認知症高齢者が、介護を受けながら共同生活を営む施設	要介護認定者数に比べ整備数の少ない区・圏域を中心に整備	1か所
定員29人以下の小規模特別養護老人ホーム	施設ニーズの高い要介護者を対象とする入所施設	特別養護老人ホームの整備が困難であった区を中心に整備	1か所

※ここで示された数値は市町村交付金を申請する整備量(予定)であり、実際の整備量は異なることがあります。

3. 用語集

社会福祉法第 107 条

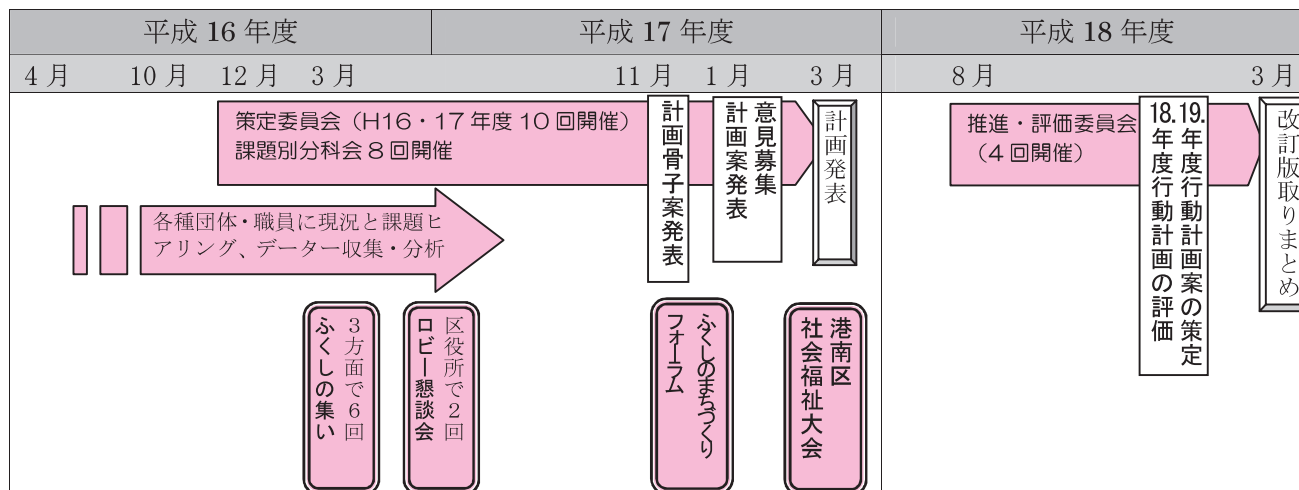
市町村は、地方自治法第 2 条第 4 項の基本構想に即し、地域福祉の推進に関する事項として次に掲げる事項を一体的に定める計画を策定し、又は変更するときは、あらかじめ、住民、社会福祉を目的とする事業を経営する者その他社会福祉に関する活動を行う者の意見を反映させるために必要な措置を講じるとともに、その内容を公表するものとする。

- 1 地域における福祉サービスの適切な利用の推進に関する事項
- 2 地域における社会福祉を目的とする事業の健全な発達に関する事項
- 3 地域福祉に関する活動への住民の参加の促進に関する事項

	用語	解説
エ	NPO (特定非営利活動)	特定非営利活動とは、利益を構成員に分配することなく、不特定かつ多数のもの利益の増進に寄与することを目的とした活動。港南区内には、平成18年2月現在、35のNPO法人が設立されている。(うち福祉分野は17団体)
キ	協働	協働とは「公的サービス」を担う異なる主体が、地域課題や社会的な課題を解決するために、相乗効果を上げながら、新たな仕組みや事業に取り組む、または作り出すこと。
ケ	健康横浜 2 1	子どもから高齢者まで、個人の主体的な健康づくりを支援する仕組みを中心にした、21世紀の新たな健康づくりの指針となる計画。平成13年9月策定。
ケ	権利擁護	福祉サービスの提供が「行政による措置」から「利用者の自由な選択による契約」に転換していく中で、認知症高齢者、知的障害者等判断能力が不十分な福祉サービス利用者の方が、安心して生活できるよう意思決定を援助し、支援を行うこと。
コ	港南区地域福祉活動計画	港南区社会福祉協議会が中心となり、地域社会における福祉課題解決のため、住民や民間団体、事業者等と相互協力して策定する、地域福祉の推進にむけた行動計画。平成13年3月第2次実施計画策定。
コ	高齢者福祉保健計画・介護保険事業計画	介護保険制度や高齢者に関する保健福祉事業の円滑な実施に関する総合的な計画として、取り組む課題を明らかにし、目標を定めるもの。3年ごとに見直しを行うとされ、今回は第3期計画(18～20年度)となる。
コ	国際交流ラウンジ	地域に暮らす外国人と日本人とが理解し合い、共に豊かな生活を実現することを目的に設置された国際交流活動の拠点。上大岡にある港南国際交流ラウンジは、横浜市国際交流ラウンジコーナー、青葉国際交流ラウンジ、保土ヶ谷区国際交流コーナーに次いで発足した。
コ	子育て連絡会	区内の子育て支援に関係する団体や個人が一堂に会し、情報交換や話し合いを行う場。その成果のひとつとして、平成17年11月に「港南区子育て情報まるごとガイドまっぷつぷ」が発行された。
コ	コーディネーター	様々な要素を統合・調整し、一つにまとめて上げる役割を担う人。横浜市では、各地域ケアプラザに配置され、地域の課題やニーズの把握を行うとともに、課題解決に向け、地域資源の発掘や調整等を行う。地域のネットワークづくりの鍵となる。
シ	次世代育成支援行動計画	平成15年成立の「次世代育成支援対策推進法」に基づき、横浜市の行動計画として策定された。平成21年度までの5年間を見据え、子どもたちが健やかに生まれ育つ「まちよこはまを創るため、家庭の育児力の向上と、地域で子育てに取り組む仕組みづくりの推進を目指す。
シ	自治会町内会	地域の課題解決と住民相互の親睦を図るために組織された、自主的・民主的な任意団体。港南区には、平成17年4月現在、174の自治会町内会がある。

	用語	解説
シ	指定管理者制度	指定管理者制度は、公の施設の管理に、民間事業者を含む多様な団体が参入することにより、住民サービスの向上と管理運営の効率化を図ることを目的として導入された。
シ	社会福祉協議会	社会福祉法第109条に基づき、社会福祉の増進を図ることを目的に組織。民間の「自主性」と、住民や社会福祉関係者に支えられる「公共性」という二つの側面を持つ。
シ	障害者プラン	平成15年の国の新障害者プランを受け、障害者が住み慣れた地域で自立した生活を送れる社会の実現のため、平成16年度から20年度までを期間として策定された計画。
シ	食育	自らの食について考える習慣や食に関する様々な知識を楽しく身につけるための学習等の取り組み。「食育基本法」が平成17年7月15日施行。
セ	青少年プラン	青少年が、家庭、学校、地域、企業や行政などに関わるすべての大人と手を携え共に生きる社会を目指して取り組んでいくための指針となる計画。平成16年7月策定。
セ	成年後見制度	認知症や知的障害などで判断能力が不十分となった本人に代わり、家庭裁判所が選任した法定代理人が、本人の意思を尊重しながら、法的な手続き等を行い、本人が安心して生活できるよう、保護・支援する制度。
チ	地域ケアプラザ	誰もが住み慣れたまちで、安心して暮らせる地域をつくっていくための拠点として、地域の福祉・保健活動を支援し、福祉・保健サービス等を身近な場所で総合的に提供する施設。港南区では7館目の整備が進んでいる。
チ	地域支えあいネットワーク (地域ケア推進連絡会)	地域の福祉保健活動団体、個人等が連携を深めるとともに、住民どうしが支え合い、安心して暮らせる地域づくりについて検討する場。地域ケアプラザが事務局となり、区役所・区社協と連携して開催する。平成12年「地域支えあい連絡会」としてスタートし、より柔軟な運営ができるよう、平成17年11月「地域支えあいネットワーク」推進指針へと移行した。
チ	地域ささえあい訪問事業	ひとり暮らし高齢者等への訪問活動を通して、地域の人々による安否の確認、見守り等の「支えあい体制」を推進するために実施する事業。地区社協の中に「地域ささえあい訪問部会」を設置して事業をすすめている。
チ	地域保健医療計画	神奈川県保健医療計画の地区計画の一つとして位置づけられ、横浜市民の将来の保健、医療及び生活衛生の指針となるべきもの。平成14年2月改訂。
チ	地域包括支援センター	高齢者が住み慣れた地域で生活を継続出来るよう、介護保険やその他のサービスを上手に利用するための様々な支援を行う施設。横浜市では、地域ケアプラザ及び特別養護老人ホームに併設された在宅介護支援センターの機能を拡充して設置する。
へ	ヘルスマイト (食生活等改善推進員)	食生活等改善推進員セミナーを終了後、地域の人々が健康を保持増進するために栄養、運動、休養を中心に適切な食生活を普及し、健康的な生活習慣の確立をめざす。港南区では現在170人が活躍している。
ミ	民生委員・児童委員	民生委員は、自治会町内会や地域福祉関係の代表者で構成される地区推薦準備会で選出され、厚生労働省の委嘱により、地域住民の福祉、生活援助活動をおこなっている。民生委員は児童委員を兼務している。港南区では、現在267人が活動している。
ヨ	横浜市都市計画マスタープラン・港南区プラン	「横浜市都市計画マスタープラン・港南区プラン」は、横浜市全体の都市計画に関する基本的な方針である「全市プラン」を前提として、港南区が目指す将来像を実現するための、まちづくりに関する基本的な方針となるもの。平成17年7月策定。

4. 計画の経過（概要）



5. 策定委員名簿

	氏 名	所 属
委員長	名和田 是彦	法政大学法学部教授 まちづくりフォーラム港南代表
委員	姫野 成示	ひざり地区社会福祉協議会会長
委員	荒井 京子	港南区民生委員児童委員協議会副会長
委員	廣畑 成志	港南台地区主任児童委員
委員	関根 緋紗代	野庭団地地区
委員	小玉 七朗	港南区シルバークラブ連合会事務局長
委員	橋本 伸子	子育て支援者
委員	相子 ツル	港南区障害者団体連絡会 精神障害者地域作業所パステル副運営委員長
委員	森田 義行	(社) そよかぜの丘 港南中央地域活動ホーム そよかぜの家施設長
委員	沼 佐代子	日下地域ケアプラザコーディネーター
委員	影山 豊子	特定非営利活動法人港南たすけあい心理士長
委員	厚坂 幸子	ともいくクラブ代表
委員	丹 直秀	(財) さわか福社財団 地域協同推進プロジェクトリーダー
委員	黒津 貴聖	公募委員
委員	岡野 富茂子	公募委員
委員	青木 律子	公募委員（市外転出のため中途退任）
委員	村田 和義	港南福祉保健センター 福祉保健課長

6. 推進・評価委員名簿

	氏名	所属
委員長	名和田 是彦	法政大学法学部教授 まちづくりフォーラム港南代表
委員	五十嵐 輝子	港南区民生委員児童委員協議会副会長
委員	越前谷 一男	横浜市立吉原小学校長
委員	木村 妙子	港南区連合町内会長連絡協議会副会長
委員	黒津 貴聖	港南区民会議地域福祉分科会委員長
委員	佐々木 信行	野庭団地地区社会福祉協議会会長
委員	笹浪 晶子	港南区シルバークラブ連合会副会長
委員	高橋 武	港南区障害者団体連絡会副会長
委員	高柳 順子	港南区保健活動推進委員会副会長
委員	丹 直秀	(財)さわやか福祉財団 地域協同推進プロジェクトリーダー
委員	中島 啓雅	医療法人中島整形外科理事長
委員	沼 佐代子	日下地域ケアプラザコーディネーター
委員	渡辺 ひとみ	NPO法人ちゅーりっぷ代表
委員	鈴木 敏旦	港南福祉保健センター長
委員	森 雅明	港南福祉保健センター担当部長

この計画を読んで “参加してみたい”

“何かやってみたい” と思われた方は、
港南福祉保健センター 福祉保健課 事業企画係へ
(港南区役所4階42番窓口)

電話：045-847-8441~2

Fax：045-846-5981

Eメール：kn-tifukuplan@city.yokohama.jp

お気軽にご相談ください。